

-----7月27日-----

2015年

※ 今週のアウトルック (7/27~7/31)

先週は、ユーロの売られ過ぎからの買い戻しが進んだ週となりました。

全般的に材料不足の中、売られ過ぎだったユーロが買い戻し、ドルをはじめその他の通貨が若干の売りに転じる状況が続いているようです。

今週も、全般的には材料不足の中、ユーロの買い戻しがあとどの程度進み、再び売りに転じるポイントはどの程度になるのかが鍵となるのかもかもしれません。

先週ドル円は、全般的にはもみ合いの中、幾分円高が進む結果となりました。

今週はこのところのサポートラインとなっている123.5円、レジスタンスラインとなっている124.5円をどちらに抜けるかがポイントとなるように思います。

来週に控えた、米国雇用統計の結果を見極めたいという動きから、このレンジ内に留まってしまう可能性も否定できないように思います。

ドル円の予想レンジは122.5円から125円です。

先週ユーロは、買い戻しが優勢となり、再び上昇しています。

ユーロドルが1.08を割らずに1.1付近まで上昇したことが大きいかもしれません。

今週はこの1.1以上を、安定してキープできるかがポイントとなりそうです。

1.1から1.115付近のレンジに入り込むことができれば、当分の間大きな下落を避けられるように思いますが、再び1.09を割り込んできた場合には、1.08を割り込む大幅な下落の可能性が出てくるように思います。

ユーロ円の予想レンジは133円から137円です。

ポンド円は、先週192円付近まで下落し上昇トレンドの小休止状態となっています。

今週190円以下に下落するようなことがあった場合には、上昇トレンドは一旦終了となる可能性が高まりそうです。

ポンド円の予想レンジは188円から195円です。

今週は、材料不足の中、株価や原油の動きを睨みながらという展開も増えてくるように思います。

**\*免責事項\***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。